

第一種奨学金(海外大学院学位取得型対象)転学科奨学金継続願

独立行政法人

日本学生支援機構理事長 殿

下記のとおり転学科しましたので、引き続き奨学金貸与の継続をお願いします。

また、卒業期が延びる場合には、返還総額が増すことを理解したうえで、独立行政法人日本学生支援機構学資金の貸与期間(終期)を下記のとおり延長することを願います。なお、返還誓約書(兼個人信用情報の取扱いに関する同意書)で確認し、誓約した内容に加えて、貸与期間(終期)の延長に係る一切の債務に関しても、確認書並びに返還誓約書(兼個人信用情報の取扱いに関する同意書)及び日本学生支援機構諸規定に定める取扱いに従うことを誓約します。

■奨学生本人記入項目 ※太枠線内及び必要事項は正確に、もれなく記入し、押印のうえ本機構に提出してください。

記入日	西暦	年	月	日	生年月日	西暦	年	月	日	(満 歳)	
奨学生番号					フリガナ						
6	1	0	6		氏名 (自署)						印

転出・転入内容				転学科・研究科年月日	卒業(修了)予定期
転出学科・研究学科	学校名	学科・研究科	専攻	(西暦) 20 年 月 日 まで在籍	当初の卒業予定期 (西暦) 20 年 月
転入学科・研究学科		学科・研究科	専攻	(西暦) 20 年 月 日 より在籍	卒業予定期 (西暦) 20 年 月

「奨学金貸与月額変更願(届)」を同時に提出する・提出しない

提出しない ※貸与月額の変更を希望する場合は、この継続願と「第一種奨学金(海外大学院学位取得型対象)貸与月額変更願」を同時に提出してください。また、「連帯保証人・保証人記入項目」に自署・押印の上、印鑑登録証明書(各願毎に1通)を添付してください。月額変更に伴い保証料月額が変更となります。

提出する

- (注) 1. 「転学科奨学金継続願」は、転学科後(転学科した日から)3か月以内に提出してください。
2. 転学科を証する書類を添付してください。(裏面参照)

■貸与総額が増加する場合は記入(転学科)により貸与期間が延長する等

[連帯保証人・保証人記入項目]に自署・押印の上、印鑑登録証明書(各1通)を添付してください。

変更後の借用金額 (予定)										円
------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---

※現在の奨学生番号の貸与始期から転学科の卒業予定期までの総額を計算して記入してください。(入学時特別増額貸与奨学金を含む)(裏面参照)

※「第一種奨学金(海外大学院学位取得型対象)貸与月額変更願」を同時に提出する場合は、「変更後の借用金額」は、月額を変更した上で貸与期間(終期)を延長した金額を記入してください。
※借用金額を訂正する場合は、裏面の訂正方法を参照してください。

※貸与総額の増加に伴い保証料月額が変更となります。

【連帯保証人・保証人記入項目】 ※連帯保証人・保証人それぞれの自署と実印での押印、及び添付書類として印鑑登録証明書(各1通)が必要です。 ※機構届出の連帯保証人又は保証人が債務整理(破産等)中の場合は、本願提出前に「連帯保証人・保証人等変更届」を提出してください。

※印鑑登録証明書を添付	私は、上記の貸与期間(終期)の延長により貸与総額が増加することを承諾し、記載の奨学生番号によって本人が負担する一切の債務につき、奨学金の返還の完了まで本人と連帯して保証し、関係法令及び返還誓約書等にしたがって債務履行の責を負います。	住所 〒	電話番号 ()
	機構届出の連帯保証人 (自署) 氏名	氏名	(昭和・平成) 生年月日 年 月 日
※印鑑登録証明書を添付	私は、上記の貸与期間(終期)の延長により貸与総額が増加することを承諾し、記載の奨学生番号によって本人が負担する一切の債務につき、奨学金の返還の完了まで保証し、関係法令及び返還誓約書等にしたがって債務履行の責を負います。	住所 〒	電話番号 ()
	機構届出の保証人 (自署) 氏名	氏名	(昭和・平成) 生年月日 年 月 日

■本人が未成年者の場合のみ記入

上記の者が、現在貸与を受けている奨学金について本申請を行うことに同意します。

親権者又は後見人	住所 〒	電話番号 ()
	(親権者・後見人) 氏名(自署)	(昭和・平成) 生年月日 年 月 日
親権者又は後見人	住所 〒	電話番号 ()
	(親権者) 氏名(自署)	(昭和・平成) 生年月日 年 月 日

本人が未成年者(20歳未満)の場合には、親権者がそれぞれの欄に自署・押印してください。親権者が連帯保証人の場合も、本人が未成年者であれば必ず自署・押印してください。親権者とは、民法に定める親権者のことで、通常は両親です。両親がいる場合は、必ず二名とも記入してください。いずれかがない場合は一人が記入し、余白に一人の旨を記入してください。後見人がある場合は、後見人が自署・押印してください。奨学金申込時の「親権者又は後見人」から変更されている場合は、余白にその旨を記入してください。

ご記入いただいた情報及びあなたの奨学金に関する情報は、奨学金貸与業務(返還業務を含む)のために利用されます。この利用目的の適正な範囲内において、当該情報(奨学金の返還状況に関する情報を含む)が、学校、金融機関及び業務委託先に必要に応じて提供されますが、その他の目的には利用されません。機関保証加入者については、機構が保有する個人情報のうち保証管理に必要な情報が保証機関に提供されます。また、行政機関及び公益法人等から奨学金の重複受給の防止等のために照会があった場合は、適正な範囲内においてあなたの情報が提供されます。

[様式4-裏]

1. 提出書類

(1) 第一種奨学金(海外大学院学位取得型対象)転学科奨学金継続願

(2) 貸与期間の延長を伴う場合:

転学科・研究科の内容が確認できる書類(コピー可)

転学科・研究科に伴い海外留学支援制度の支給期間が延長されたことが確認できる書類(コピー可)

記載必須事項:

① 修了予定年月

② 転学科・研究科の内容 (下記の内容が記載された証明書が有効です。)

・転学科・研究科の時期

例:○年○月、○年○セメスター等。セメスターの場合、アカデミックカレンダー等添付。

・具体的な転学科・研究科内容 例:○○学科・研究科から○○学科・研究科へ転学科・研究科

③ 取得する学位(○○修士等)

例:理学修士、文学修士等。

(3) 連帯保証人・保証人の「印鑑登録証明書」(原本、各1通)・・・(貸与期間(終期)の延長を伴う場合のみ)

2. 転学科・研究科に伴う貸与期間の延長のため、貸与総額が増額となる場合の借用金額の計算例

(1) 進学届提出時に申請した内容:

2019年4月に理学研究科に入学、修了予定は2020年9月。2019年4月貸与始期で貸与期間は18か月。貸与月額50,000円。

貸与開始に伴い提出済みの返還誓約書の借用金額(当初の貸与予定の借用金額)

(理学研究科) 50,000円×18か月=900,000円

※ 18か月・・・2019年4月～2020年9月 (進学届提出時に申請した貸与期間)

(2) 転学科・研究科により修了期の変更があり、貸与期間の延長が必要なために申請する内容:

2019年4月に理学研究科に入学、2019年12月まで理学研究科に在籍。理学研究科での貸与期間は9か月。

2020年1月に工学研究科に転学科・研究科し、2021年3月修了予定。転学科・研究科後、工学研究科での貸与期間は15か月。

転学科・研究科に伴い、増額を希望し、奨学金貸与希望金額は 88,000円。

転学科・研究科による貸与期間の延長に伴い変更となった後の借用金額(今回の願い出に伴う変更後の借用金額)

$50,000円 \times 9か月 + 88,000円 \times 15か月 = 1,770,000円$

(理学研究科)

(工学研究科)

※ 9か月・・・2019年4月～2019年12月 (理学研究科に在籍していた期間)

※ 15か月・・・2020年1月～2020年3月 (転学科し、工学研究科に在籍する期間)

	従前学科・研究科(理学研究科)			転学科・研究科後の在籍学科・研究科(工学研究科)			貸与総額
	貸与始期	貸与終期 (最終在籍年月)	貸与月数	貸与始期 (転学科・研究科年月)	修了予定 (支給終了予定)	貸与月数	
(1) 当初予定	2019/04	2020/09	18か月	—	—	—	900,000円
(2) 転学科・研究科後	2019/04	2019/12	9か月	2020/01	2021/03	15か月	1,770,000円
貸与月額	50,000円			88,000円			—

3. 変更後の借用金額(予定)欄の訂正方法について

奨学生に採用された後に月額の変更や貸与期間の延長・訂正に伴い、借用金額(予定)を増額する場合は、「返還誓約書」に記載した借用金額の増額となるため、本人及び親権者(本人が未成年者(20歳未満)の場合)に加え、連帯保証人と保証人にも同意を得たうえで署名捺印(実印)と印鑑登録証明書の添付が必要です。そのため、「変更後の借用金額(予定)」を誤って記入した場合は、次のとおり訂正が必要です。

「変更後の借用金額(予定)」の訂正方法:次の①②のいずれかの方法で訂正してください。

① 借用金額全体を二重線で抹消し「訂正印」を押し、余白に正しい金額を記入する。本人印に加え、連帯保証人と保証人の実印による訂正印が必要。

② 新たな用紙に記入する。

① 誤った借用金額に二重線を引きます(1円の単位まですべての数字を抹消してください)

変更後の借用金額(予定) ~~2215000~~円

② 二重線の上に、訂正印を押印してください。

本人印・連帯保証人実印・保証人実印を重ねないように押印。

変更後の借用金額(予定) ~~2215000~~円

本人 連帯保証人 保証人

③ 正しい金額を訂正した欄の上部余白に、はっきりと記入してください。

変更後の借用金額(予定) 1800000円

本人 連帯保証人 保証人